



1_馬場桶の獅子舞/2_鼻ぐり井手の説明をする子どもガイド/3_鼻ぐり井手〇×クイズ/4_肥後武者剣術による演武/5_菊陽武蔵剣豪太鼓の演奏に参加する子どもたち/6_熊本大学大学院教授の山尾敏孝さんの基調講演/7_文化財ボランティアガイドの説明を聞く来場者/8_鼻ぐり井手の寸劇をする南小の子どもたち

1_優雅な民舞を披露/2_3_演奏に乗って華やかに舞うバレエ/4_文化協会功労者3人へ表彰状贈呈/5_大正琴のみやびな音色が会場に響く/6_哀愁ただよう演歌「兄弟流し」/7_息の合った勇壮な音色の三味線/8_観衆を魅了したフラダンス

鼻ぐり井手祭

菊陽町文化祭

鼻ぐり井手の伝承話や昔の暮らしを語り、後世になごうがテーマの「第5回清正さんの鼻ぐり井手祭」が11月17日、南部町民センターと鼻ぐり井手公園で開催されました。

南部町民センターでは「馬場桶の獅子舞」や菊陽南小学校児童による鼻ぐり井手の寸劇、熊本大学大学院教授の山尾敏孝さんによる「馬場桶井手の現状と文化財登録に向けて」の講演などがありました。

鼻ぐり井手公園では、文化財ボランティアガイドが中州山周辺散策と映像を使い「鼻ぐり」の仕組みなどの説明のほか、菊陽南小3・4年生が子どもガイドとなって来場者に「鼻ぐり」について積極的に説明しました。また、アトラクションとして「鼻ぐり井手〇×クイズ」「肥後武者剣術演武」「菊陽武蔵剣豪太鼓演奏」などが行われました。

町内外から約1,100人が訪れ、歴史的遺構を感じたようです。その他、地域住民手作りのカレーライスなどの振る舞いや野菜の販売なども行われ、今年の鼻ぐり井手祭も大勢の来場者でにぎわいました。

芸術の祭典「第37回菊陽町文化祭」は11月2日から4日の3日間にわたって菊陽町図書館で開催されました。

11月3日に発表の部、4日に歌謡部発表会、2・4日に展示の部が行われ、約1,300人が訪れました。

今年は文化協会に尽力した功労者3人に表彰状が贈られました。会場では、町内で文化活動をしている団体などのステージ発表や作品展示が行われ、終日にぎわいました。

ステージ発表では、歌謡、吟詠、民舞などに多くの人が出演し、日頃の活動の成果を披露。展示では、書道、水墨画、写真、子ども生け花など4団体の作品が展示され、同時に茶道の実演が行われ来場者を楽かせていました。

なお、会場では東北関東大震災義援金の募金箱を設置し、44,685円と多くの善意が寄せられました。

【表彰者名】

- 文化功労者特別表彰 書道 佐野 正憲 さん
- 文化功労者表彰 歌謡部 吉村 利雄 さん
- 永年在籍者表彰 歌謡部 中村 正 さん